

# 生成AI時代のコンテンツ制作革命

MCPプロトコル対応のAIフレンドリーコンテンツ戦略

岡崎 太

株式会社フィールフロー 取締役CTO

2025年7月28日

---

# 本日の アジェンダ

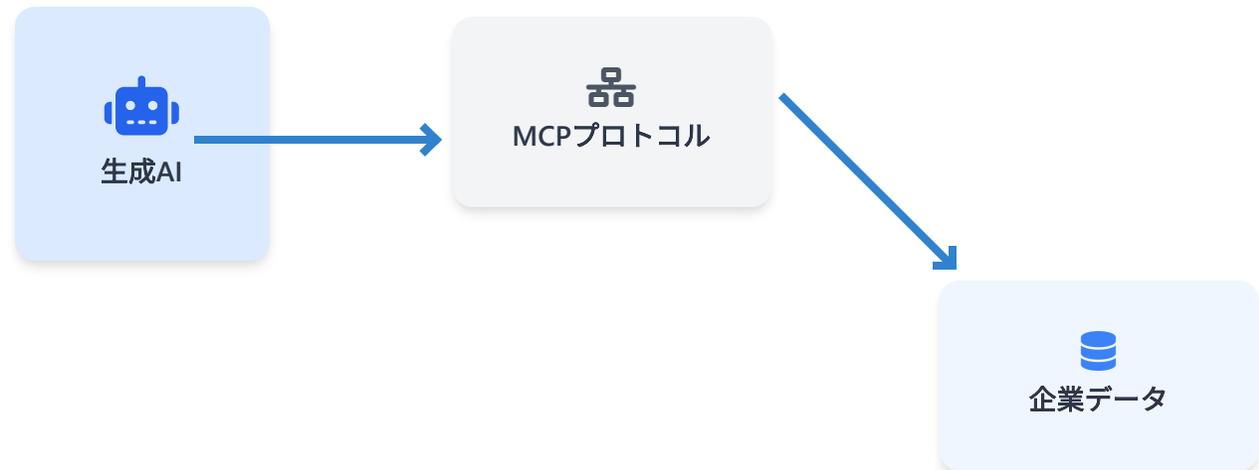
プレゼンテーションの  
全体像と流れ

- 1 現状分析
- 2 MCPプロトコルの影響
- 3 AIフレンドリーな設計原則
- 4 実装手法
- 5 企業戦略3フェーズ
- 6 サービス紹介
- 7 まとめ・次アクション

# 生成AI時代の到来

パラダイムシフトが  
始まっている

- 🚀 2024~2025年にかけて、生成AIの企業導入が急速に拡大
- 🔌 MCPプロトコルの登場により、AIが外部データソースに直接アクセス可能に
- ↔️ 従来の「人間中心」コンテンツ制作から「AI+人間」対応型へシフト



# なぜコンテンツ制作手法の見直しが必要か

AIフレンドリーな  
設計思想への転換

- 🔍 **情報取得の主体**がAIにも拡大し、AIを介したコンテンツ発見が増加
- 👤 **構造化・セマンティック**な記述がなければ、AIが文脈を十分に理解できない
- 🤖 **AIに読まれる前提**での設計思想が求められる時代へ

## 従来

- 👁️ 視覚的な魅力重視
- ❤️ 感情的アプローチ
- 👤 人間読者のみを想定
- 🖋️ デザイン優先



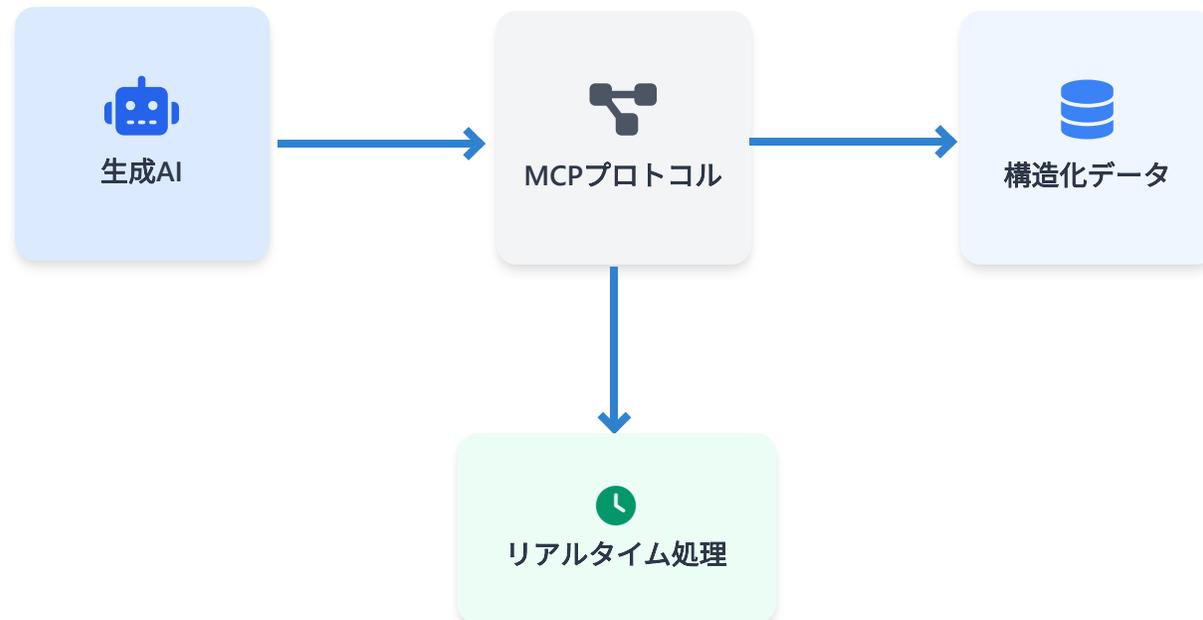
## 現在

- </> 構造化データ重視
- 🔗 論理的関連性
- 🤖 AI + 人間の両方
- 📄 階層的情報設計

# MCPプロトコルが もたらす 技術的变化

AIとデータの  
新しい関係性

- 🔍 AIが能動的にコンテンツにアクセス：人間のインタラクションなしに自律的なデータ検索・取得が可能に
- 🔄 リアルタイムでの情報取得・更新：最新情報への常時アクセスと自動更新プロセスの実現
- 📦 構造化データの重要性向上：AIが解釈しやすい形式でのデータ提供が競争優位性に



# MCPプロトコルの ビジネスインパクト

新たなビジネス価値の創出

- 🔍 **コンテンツの発見性向上** — AIが価値ある情報を能動的に発見・活用
- 🔗 **間接的なリーチ拡大** — AI経由で従来とは異なる層へのアプローチが可能に
- 📈 **データドリブンな最適化** — AIアクセスパターン分析による継続的改善
- 📣 **新たなマーケティングチャネル** — AIを介した情報伝達経路の確立



# AIフレンドリーな コンテンツ設計原則

AIと人間の両方に  
価値を提供する3原則



## 1. セマンティック構造の強化

階層的な文書構造とタグ付けで意味関係を明示。「○○について、○○である」のような単純な記述形式ではなく、定義・特徴・事例など目的別に構造化されたセクションを設計。



## 2. メタデータの充実

作成日・更新日、著者情報、カテゴリ・タグ、対象読者レベル、関連トピックなどのメタ情報を明示。JSON-LD構造化データによりAIの理解を促進。



## 3. コンテキスト情報の明示

用語定義の併記、前提知識の明記、関連概念との関係性説明、適用可能性の範囲明示。AIが文脈を正確に理解できるよう背景情報を提供。

### 重要ポイント



AIと人間の両方に価値を提供するコンテンツは、明確な構造と豊富なコンテキスト情報を備えています。MCPプロトコル時代では、これらの原則がさらに重要性を増しています。

# AIフレンドリー設計の 構造例

AIと人間の両方に  
理解しやすい  
構造化アプローチ

## 📖 推奨フォーマット例

```
# メインタイトル
## 概要・定義セクション
- 主要概念: 核となる概念の定義
- 適用範囲: どの領域で有効か
## 詳細説明セクション
### 特徴・事例
```

## </> JSON-LD構造化データの例

```
{
  "@context": "https://schema.org",
  "@type": "Article",
  "headline": "生成AI時代のコンテンツ制作革命",
  "author": {
    "@type": "Person", "name": "岡崎 太",
    "jobTitle": "取締役CTO"
  },
  "datePublished": "2025-07-28",
  "keywords": ["MCP", "AIフレンドリー"]
}
```

✔️ AIが理解しやすい構造化データ

👤 人間の閲覧性も維持

# 具体的な実装手法

API化と多層化による  
AIアクセス最適化

## </> API化によるデータアクセシビリティ向上：REST/GraphQLインターフェースの提供

### RESTful API

階層化されたエンドポイント構造  
GET /api/v1/articles/{id}

### GraphQL

柔軟なデータ取得  
query GetArticle(\$id) {...}

## ≡ コンテンツの多層化戦略：AIが効率的に必要な情報を選択可能に

レベル1	レベル2	レベル3	レベル4
概要	要点	詳細	専門情報
1-2文の要約	3-5つの主要ポイント	完全な説明と例	技術的詳細・データ

## 🛡️ 技術的配慮：パフォーマンス最適化（レスポンス速度100ms以下）とセキュリティ対策

# 技術的配慮・ モニタリング

AIアクセスを  
最適化する  
技術戦略

 **レスポンス高速化** - 軽量JSONデータ構造の採用、100ms以下のレスポンス目標、非同期処理の活用

 **キャッシュ戦略** - CDN活用、インメモリキャッシュ(Redis)、多フォーマット対応(JSON/XML/CSV/Markdown)

 **AIアクセス状況分析** - モニタリング体制の構築とA/Bテストによる継続的最適化



アクセス頻度の  
高いコンテンツ



検索クエリの  
パターン



エラー率  
分析



レスポンス  
時間

## セキュリティ対策の重要性

-  OAuth 2.0/JWTトークンによる厳格な認証
-  IPアドレス・APIキー単位でのレート制限
-  定期的なデータ監査と品質保証プロセス

# 企業のための 3フェーズ戦略

段階的なアプローチで  
AIフレンドリーへ

## 📍 フェーズ1：現状評価・準備

- 既存コンテンツのAI適応度診断
- 構造化データの充実度評価
- API化の可能性と優先順位付け

## ✂ フェーズ2：優先度をつけた最適化

- 高頻度アクセスコンテンツから着手
- 専門性の高い独自情報の構造化
- 段階的な実装とテスト

## 📈 フェーズ3：継続的改善・モニタリング

- KPI：AI参照回数、データ利用率
- AIアクセスパターンの分析
- A/Bテストと新技術対応

💡 **ポイント**：段階的アプローチでリソース効率を最大化しながら、AIと人間双方に価値あるコンテンツ基盤を構築

## まとめ

フィールフロウの  
支援サービス

- ✓ 構造化データとメタデータの充実がAI時代の成功の鍵
- ✓ API化によるアクセシビリティ向上でAIとの効率的な連携を実現
- ✓ 継続的な最適化と改善で競合他社に対する優位性を確立



### AI適応度診断サービス

既存コンテンツの構造分析、改善ポイントの特定、ROI予測とロードマップ策定



### 実装支援サービス

コンテンツ構造の再設計、API開発・実装、AIフレンドリー化の技術支援



### AIネイティブCMS

自動構造化機能、リアルタイムAI適応度測定、最適化提案エンジン



### お問い合わせ

株式会社フィールフロウ 〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂1-12-1 渋谷マークシティW22階